

第九十回  
帝國議會  
貴族院

# 商工協同組合法案特別委員會會議事速記録第三號

付託議案

○商工協同組合法案

昭和二十一年十月二日(火曜日)  
午前十一時二十一分開會

○委員長(男爵肝付兼英君)

ソレ  
デハ昨日ニ引續キマシテ、本日モ  
亦商工協同組合法案ノ質問ヲ繼續  
致シマス、今日ハ昨日モ申上ゲマ  
シタ通り、工務局長ト鑛山局長ノ  
出席ヲ得テ居リマス、若シ  
モ御質問ガゴザイマスレバ鑛山局  
關係、或ハ工務局關係ヲ先ニ一ツ  
御願ヲ致シタイト思ヒマス

○秋田三一君

折角工務局長サン  
ガ御出デニナツテ居ルヤウデアリ  
マスカラ、總括的ニ私ノ聽キタイ  
ト思フテ居ルコトヲ御話シ致シマ  
ス、斯ウシタ終戦ニ依ツテ經濟界  
ニ大キナ變動ヲ來シテ居ルノデア  
リマスガ、色々ノ賠償問題、財閥  
ノ解體其ノ他ガ現實ニ行ハレテ居  
リマスガ、今後ノ工業ノ在リ方  
ト中小工業ノ今後ノ行キ方ト云フ  
コトニ對シテ、總括的ナ御意見ヲ  
伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(鈴木重郎君)

今回ノ  
賠償實施、或ハ財閥解體等ノ措置  
ノ實行ニ伴ヒマシテ、向後ニ於ケ  
ル我が國ノ工業ノアルベキ姿ハド  
ウ云フ風ナモノデアラウカト云フ  
御質疑デゴザイマスガ、寧ろ今

後ニ於キマスル我が國ノ民需生産

ノ確保、或ハ輸出産業ノ確保、向  
後ニ於キマスル經濟再建ノ基礎ニ  
ナリマスル各種工業ニ付キマシテ  
ハ、聯合軍方面ニ於キマシテモ我  
ガ國ノ經濟事情ヲ十分了解致シ  
テ與レテ居ルノデゴザイマシテ、  
今後ニ於ケル民需ノ充足ナリ、經  
濟復興ニ必要ナル最小限度ノモノハ  
相當國內ニ存置スルコトヲ認メテ  
居ルノデゴザイマス、工作機械ニ  
致シマシテモ、或ハ硫酸、「ソー  
ダ」等ノ各種種、或ハ「ボール・  
ベアリング」ト云フヤウナ各種ノ  
業態ヲ見マシテモ、勿論賠償實施  
ノ現實ハ相當強度ノモノデハゴザ  
イマスガ、尙國內ニ殘存シテ居  
ル、許容サレテ居ル限度モ、今申  
シマシタ趣旨ニ於キマシテ向後ノ  
整理復興ニ必要ナル最小限度ハ、十  
分ニ存置スルコト云フ好意アル理解  
ヲ示シテ居ルノデゴザイマシテ、  
是等ノ重要ナル業態ニ付キマシテハ  
是モソレノ業種、業態ノ實情  
ニ即應致シマシテ、無論財閥的ナ  
獨占的ナ經營ナリ、發達ト云フコ  
トハ固ヨリ是ハ阻止スベキモノデ  
ゴザイマスガ、是等ノ各種業態ガ  
眞ニ公正ナル競争ノ下ニ、自由ニ發  
展スルコトニ付キマシテハ、何等  
ノ制限ヲ受ケテ居ラナイノデゴザ  
イマスルシ、又特別ノ業種ニ付キ

マシテハ必ズシモ中小工業ノミニ

依ツテ發達シ得ザルモノモ相當ア  
ラウト存置ルノデゴザイマス、從  
ヒマシテ斯ウ言ツタヤウナ中核ヲ  
成スヤウナ、相當ノ規模程度ノ工  
業モ、今後ニ於テ相當ニ維持育成  
ヲ致サネバナラスト存置ルノデゴ  
ザイマス、併シナガラ今後ニ於キ  
マスル各種ノ工業ノ規模ヲ大體想  
定致シテ見マスレバ、只今御質疑  
モゴザイマシタヤウニ、財閥モ解  
體サレテ居ルデアリマス、又軍需  
工場、兵器工場トシテ從來大規模  
ニ發展致シテ參リマシタ工場ハソ  
レゾレ色々ノ觀點カラ整理ヲサレ  
ル、或ハ中小工業化シテ行ク必然  
的ナ運命ニアルト存置ルノデゴザ  
イマス、又今後起キテ參リマスル  
工業形態モ、矢張り此ノ狭イ土地  
ニ多數ノ人口ヲ擁シテ居リマスル  
ノデ、是等ノ發達スル途ハ矢張り  
中小工業ノ過程ニ入ツテ來ルト存  
置ルノデアリマス、而シテ是等ノ  
中小工業ノ形態ハ過去ニ於キマシ  
テモ我が國ニ於ケル産業ノ中心ヲ  
ナシ、又我が國産業ノ獨特ノ強味  
デモアツタノデゴザイマシテ、ソ  
レ等ノ工業生産ガ中小規模ニ於テ  
經營セラレテ行クヤウニ相成ラウ  
ト存置ルノデアリマス、之ニ付キ  
マシテモ各方面カラ、ソレノ  
業種ノ間ニ於ケル共同提携ノ下ニ

御五ノ切瑳琢磨ヲ加ヘ、而シテ公

正ナ意味ニ於ケル競争ノ下ニ、發  
達ヲシテ行クト存置ルノデアリマ  
シテ、之ニ關スル色々ノ組織化モ  
必要デアリ、又技術ノ指導向上ニ  
對スル色々ノ措置モ必要デアリ、  
又是等ノ中小工業ノ發展シテ行ク  
爲ノ、資金ノ問題ナリ、或ハ資材ノ  
問題ナリニ付キマシテモ、之ニ支  
援ヲ與フベキモノト存置ルノデア  
リマシテ、其ノ結果ハ今迄アリマ  
シタヤウナ所謂個々ノ商品、工業  
生産品ト云フヨリモ、我が國ニ於  
キマスル是等ノ中小工業ノ形態ニ  
即應シ、又海外市場ノ需要ニモ應  
ジタヤウナ、新シイ製品ノ創造生  
産ガ行ハレテ來ルト存置ルノデア  
リマシテ、從來ノ所謂輸出品或ハ  
國內民需品ト云ツタヤウナモノノ  
ミデナクシテ、今後新シイサウ云  
ツタ中小工業製品ト云フモノガド  
ンドシ生レテ來ル、所謂「ヴァラ  
エティー」ニ富ンダ産業形態ト云  
フモノガ出テ來ルト存置ルノデア  
リマシテ、又サウ云フ方面ニ出來  
得ル限り指導助成ヲ致スベキモノ  
デアラウト考ヘルノデアリマス、  
無論一ツノ陶磁器工業、一ツノ織  
維工業ヲ取リマシテモ、矢張り斯  
ウ云ツタ意味ニ於キマシテ、大量  
ノ生産、或ハ大キク纏ツタ製品モ  
無論アル譯デアリマスガ、ソレト

同時ニ今申上ゲマシタヤウナ、過

去ニ於テ餘リ問題ニサレナカツタ  
ヤウナ製品モ、今後我が國ノ各地  
方ノ傳統ナリ、或ハ技術ナリ、  
日本ノ持味ヲ織込シタヤウナ、各  
種ノ「ヴァラエティー」ニ富ンダ  
工業生産ト云フモノガ、ドンノ  
生レテ來ルノデアラウト存置マス  
ルシ、又サウ云フ風ニ指導ヲ致シ  
タイ、斯ウ考ヘテ居ルノデゴザイ  
マス

○秋田三一君

只今ノ御意見大變  
結構ダト思ヒマスガ、若シ中小工  
業ガ段々發展致シマシテ、サウシ  
テ矢張り相當ノ大キイ規模ニナツ  
タ方ガ、色々生産「コスト」其ノ  
他ノ點ニ於テ有利ト云フヤウナ點  
カラ、段々擴大シテ行キマシテ大  
キクナツテ來ルト云フ場合ニ、何  
カソレハ或限度度抑ヘラレルト云  
フコトニナリマスガ、ソレハ發展  
シテ大キクナツテ來タモノハ、其  
ノ儘大規模ニナツテ行クコトヲ認  
メテオイデニナル方針デスカ、ド  
チラデセウカ

○政府委員(鈴木重郎君)

産業ノ  
發展ノ狀況カラ考ヘマスレバ、無  
論小規模ノ單位ニ於テ爲スコト  
ガ、所謂合理的デアリ、經濟的デア  
ルヤウナ業種モ、多々アルデアラ  
ウト存置ルノデアリマシテ、斯ウ  
云フ風ナモノニ付キマシテハ、必

ズシモ大規模經營が適當デアルトモ考ヘラレナイノデアリマシテ、又業界モ中小單位デアルコトガ經濟的、合理的デアルモノハ、恐ラク其ノ過程ヲ少ムデアラウト存ズルノデアリマス、併シナガラ固ヨリ其ノ事業が發達シテ行クコトヲ、無論望シデ居ル譯デゴザイマシテ、是等ノ中小工業ノ中ニ、今御話ノゴザイマシタヤウナ、將來有望ナ又需要方面モ旺盛デアルヤウナ製品ニ付キマシテ、其ノ資金ナリ技術面ニ於テ漸次發達ヲ致シマシテ、小工業ガ中トナリ、是ガ大量生産ノヤウナ大工業ニ發達シテ行クコトハ固ヨリ望マシイコトデアルト存ズルノデアリマス

○秋田三一君 只今ノ御説明ニ依リマシテ、中小工業ニ對シテ非常ニ御援助サレヤウナコトデスガ、具體的ニ協同組合ト云フ組織ヲ如何ニ致シテオイデニナラウト云フ御考デアリマス、此ノ協同組合ノ設立等ニ對シテ十分御力ヲ御入レニナルドラウト思ヒマスガ、工業方面ニ付テドウ云フ方法デ御ヤリニナリマス

○政府委員(鈴木重郎君) 此ノ協同組合ノ根本精神ハ御承知ノ通り、各關係業者ノ方々ノ心カラナル結付キニ依ル協同精神ヲ基礎トシテ組織化サレル所ニアルノデゴザイマス、今日ノ現狀ハ御承知ノ通りデアリマシテ、嘗テノ所謂統制ノ爲ノ統制、或ハ統制組織

ニ餘リニ慣ラサレテ居リマス關係カラ、斯ウ云ツタ中小工業業者ノ方ガ本當ニ提携ヲシテ、ドウ云フ風ナ組織ニドノ程度ノ規模ニ於テ協同提携ヲスルコトガ適當カト云フコトノ實際ノ判斷ニ付キマシテハ、色々困難ナ事情モアラウト存ズルノデアリマシテ、之ニ付キマシテハ、本法ノ精神ヲソレモ、各業界ノ方ニモ十分徹底理解ヲシテ戴クヤウニ措置ヲ致シマス、同業時ニ、ソレモ、ノ業種業態ニ應ジマシテ、ソレモ、地域のナル、或ハ此ノ關係業者ノ方々ノ御相談ニ、十分政府ト致シマシテモ御相談ニ乗リ、又ソレニ對シテ出來ル限りノ「アドヴァイス」モ與ヘマシテ、出來得ル限り其ノ組織化ヲ推進スルヤウニ援助協力ヲ役所側トシテモ努力致シタイ、ソレト同時ニ、從來關係シテ居ラレマシタヤウナ關係業者ノ方々ニモ其ノ趣旨ヲ十分理解シテ戴キマシテ、其ノ業種ナリ或ハ地區ニ適當ナ組織ノ出來ルヤウニ指導シテ參リタイ、斯ウ存ジテ居ルノデゴザイマス

○秋田三一君 先程チヨット御話ノアリマシタ技術指導トカ、其ノ他色々具體的ノ指導方法ガゴザイマセウガ、サウ云フ方ハ今度出來マス商工協同組合中央會ノ方ヲ通ジテ御ヤリニナリマス、或ハ商工會議所ガサウ云フ面ニ活動シテ居リマスガ、今後ハドウ云フ形ヲ取ツテ御指導ニナリマスノデスカ

○政府委員(吉田悌二郎君) 中央會ノ方ハ主トシテ此ノ協同組合ノ共同施設ヲ色々實施スル譯デゴザイマスガ、其ノ共同施設ノ實行上ニ付テノ指導ノ中心ニ考ヘテ居ルノデゴザイマス、要スルニ協同組合トシテノ經營ノ仕方ニ付テノ色々御指導ヲ重點トシテ考ヘテ居リマス、技術的ナ方面ニ付キマシテハ、是ハ只今マダ確定ハ致シテ居リマセヌガ、度々商工大臣ガ議會ニ於テ答辯シテ居ラレマスガ、中小工業ニ對シマシテ特別ナサウ云フ援助ヲスル何ト申シマスカ機關ヲ政府トシテ考ヘタイト云フコトデ、政府ト致シマシテハ中小工業ノ助成局ト云ツタヤウナモノヲ安定本部カ、或ハ實際ノ仕事ヲ商工省デアルト云フヤウナコトニナルト思ヒマスガ、サウ云フ組織ヲ中央ニモ大體或程度組織ヲ置キマシテ致シマス譯デゴザイマスガ、其ノ第一線ノ仕事ト致シマシテハ、出來ルダケ各種ノ團體ヲ使ツテ行キタイト考ヘテ居リマス、勿論商工會議所モ其ノ一ツトシテ考ヘテ行キタイト思ツテ居リマス、シ、モノニ依リマシテハ、此ノ商工協同組合ノ聯合會、或業種ニ付テハサウ云フ同業者ノ聯合會ガ出來テ居リマス、サウ云フモノモ使ツテ行キタイ、色々ノ方面ノ御協力ヲ得マシテ、中小工業ノ助成局ニ附置サレマス所ノ技術官ト云フモノト連絡ヲ取りマシテ、實

際ノ御指導ニ當ツテ行ク、斯ウ云フコトニシテ參リタイト考ヘテ居リマス

○秋田三一君 戰時中ハ中小ノ工場トソレカラ大工場トノ間ニ親子ノ關係ガ出來タリ、或ハ又要スルニ協力的ナ形ガ出來テ居リマシタガ、今後ハサウシタ大工場ト子工場トノ關係ト云フモノハ、餘リナイ見込デアリマス、或ハ又同ジヤウナ種類ノ工場ガ相寄ツテ一ツノ大キナ規模ノモノヲヤルト云フヤウナ形態ガ出來ル、又出來ル方ヲ御奨メニナルヤウナ御考デスカドウデスカ

○政府委員(鈴木重郎君) 親工場ヲ中心ニシタ企業系列ノ一ツノ一環ト致シマシテ、中小工業ト其ノ結付キニ於テ、協同組合ノ組織トノ關係ノ御質疑デゴザイマスガ、是モ亦必ズシモ一律ニハ論ゼラレナイト存ズルノデアリマス、矢張り私共ノ考ヘテ居リマス業種ニ付キマシテハ、矢張り假ニ協同組合ガ出來マシテモ、ソレガ例ヘバ部品工業デアツタリ、或ハ關聯ノ工業等ニ付キマシテハ、矢張り其ノ納入先ト申シマス、發註先ト申シマス、サウ云ツタ關係ニ於テハ、此ノ組立工場ナリ或ハ大工場ノ完成品ノ一部トシテ、矢張り協同組合ト大工場トノ結付キガ當然ニ必要ニ相成ラウト存ジマス、又サウ云フ場合ニハ其ノ下請工場ナリ、部品工場ナリノ組織化

ハ、サウ云フ意味ニ於テ協同組合ノ組織ヲ作ラセルト同時ニ、發註工場、親工場トノ結付キモ、特ニ連繫ヲ密ニスルヤウナ措置ヲ執リタイト考ヘテ居ルノデアリマス、併シナガラ又モノニ依リマシテハ、各一ツノ製品ヲ目的トシタ各種ノ部品ノ縱ニ結付クヤウナ協同組合ト云フ風ナモノモ當然豫想セラレルノデアリマシテ、例ヘバ或完成品ヲ中心ニシ、ソレニ關聯ヲ持ツタ部品工業、下請工業等一ツノ協同組合ニ組織化スルト云フ風ナ場合モ考ヘテ居ルノデアリマシテ、ソレモ、其ノ生産スル製品ナリ、其ノ需要先ナリ、又ソレヲ一ツノ完成商品トシテ取纏メル爲ニ最モ適當デアル場合ニ於キマシテハ、其ノ關係ノ業者ノ方々ノ協同組合ト云フモノノ組織モ亦極メテ、各業者ノ仕事ヲ圓滑ニ經營シテ行ク上ニモ便利デアラウト存ジマシテ、サウ云フ縦割リノ場合、横割リノ場合ト、二通りヲ大體考ヘテ進メタイト考ヘテ居リマス

○吉田久君 私人二三ノ點ニ付テ質問サセテ戴キタイノデアリマス、第一ハ、本組合ノ目的トスル共同施設ニ付テデアリマスガ、此ノ點ニ付テハ昨日日本員カラ御伺フ致シマシタ、又ソレニ對スル政府ノ御答辯ガアツタノデアリマスガ、多少ハツキリシナイ點ガアリマス、本日改メテ御聴キ致シタイノデアリマス、共同施設ニ付

ハ、サウ云フ意味ニ於テ協同組合ノ組織ヲ作ラセルト同時ニ、發註工場、親工場トノ結付キモ、特ニ連繫ヲ密ニスルヤウナ措置ヲ執リタイト考ヘテ居ルノデアリマス、併シナガラ又モノニ依リマシテハ、各一ツノ製品ヲ目的トシタ各種ノ部品ノ縱ニ結付クヤウナ協同組合ト云フ風ナモノモ當然豫想セラレルノデアリマシテ、例ヘバ或完成品ヲ中心ニシ、ソレニ關聯ヲ持ツタ部品工業、下請工業等一ツノ協同組合ニ組織化スルト云フ風ナ場合モ考ヘテ居ルノデアリマシテ、ソレモ、其ノ生産スル製品ナリ、其ノ需要先ナリ、又ソレヲ一ツノ完成商品トシテ取纏メル爲ニ最モ適當デアル場合ニ於キマシテハ、其ノ關係ノ業者ノ方々ノ協同組合ト云フモノノ組織モ亦極メテ、各業者ノ仕事ヲ圓滑ニ經營シテ行ク上ニモ便利デアラウト存ジマシテ、サウ云フ縦割リノ場合、横割リノ場合ト、二通りヲ大體考ヘテ進メタイト考ヘテ居リマス

キマシテハ共同性ガナケレバナ  
ラス、デアアルカラシテ、組合員ガ  
此ノ施設ヲ利用スルニ付テハ、其  
ノ施設ノ利用ハ部分的デナケレバ  
ナラス、全般的デアツテハナラス  
ト云フコトガ、昨日政府委員カラ  
御説明ニナツタノデアリマス、デ  
アリマスルカラ、織物ニ付テ申上  
ガマスレバ、糊付ハハ共同デヤ  
ル方ガ宜イカラ共同施設ニスル  
ガ、併シ更ニ一歩進ンデ其ノ糊付  
ヲシタ材料ヲ基ニシテ織物ヲ拵ヘ  
テ、更ニ之ヲ販賣スルト云フコ  
トハ共同性ガナイ、從ツテ本組合  
モ爲シ得ナイ所デアアル、斯ウ云フ  
コトニナルヤウデアリマス、處ガ  
施設ノ利用ガ部分的デナケレバナ  
ラスト致シマシテモ、只今申シマ  
シタ織物ニ付テモ、更ニ此ノ糊付  
ヲシタ糸ヲ材料ニシテ機ヲ織ルコ  
トガ矢張り共同デヤツタ方ガ都合  
ガ好イト云フコトニナルト、ソレ  
モ出來ル、更ニ又一步進ンデ尙共  
同的ニ販賣シタ方ガ宜シイト云フ  
コトニナリマス、結局施設ノ利  
用ト云フモノガ部分的ニ止ラナイ  
デ、全般的ニナツテシマフ、サウ  
云フコトニナリマスルト云フト、  
結局此ノ共同性關聯トデモ申シマ  
スルカ、ソレガ失ハレテシマヒマ  
シテ、中小商工業者ノ業務ヲ壓迫  
スルト同時ニ、本組合ハ獨占事業  
ヲ營ムト云フ結果ニナルト思フノ  
デアリマス、又本組合ノ目的トス  
ル保管業務ニ付キマシテモ、此ノ

業務ヲ大規模ニ組合員ガ利用スル  
ト云フコトニナリマスルト云フ  
ト、現在ノ倉庫業者ノ部分モ妨ゲ  
ルト云フコトニナルト思フノデア  
リマス、デアリマスルカラ、共同  
施設ニ付テモ共同性ノ關聯ニ付キ  
マシテモ、之ヲ認メル實際的ノ處  
置ニ十分ナル用意ト工夫ヲシナケ  
レバナラナイト考ヘルノデアリマ  
ス、此ノ點ニ付テ政府ハ如何ナル  
用意ヲ有セラル、ノデアアルカ、ソ  
レヲ先ツ御伺ヒ致シタイノデアリ  
マス、此ノコトハ只今秋田委員カ  
ラノ御質問ニモ觸レタノデアリマ  
スルガ、尙一ツ此ノ際ハツキリシ  
タ御答辯ヲ御願ヒ致シマス、第二  
ニハ組合員ノ資格ニ付テデアリマ  
スガ、此ノ點ハ過日奧委員カラ御  
發言ガゴザイマシタガ、組合員ノ  
資格ヲドウ決メルカト云フコト  
ハ、是ハ定款ニ依ツテ決メ次第如  
何様ニモ決メラレルト云フコトニ  
ナルヤウデアリマス、處ガ本法ノ  
組合員ノ中核トナルベキモノハ中  
小商工業者デアアル所謂大商工業者  
ハ組合員ニハナレナイ建前ダトス  
様ニ是迄ノ政府ノ御説明デハ了解  
致シテ居ルノデアリマス、ソコデ  
中小商工業者トソレカラ大商工業  
者トノ限界ヲ決メナケレバナラナ  
イ、處ガ此ノ限界ハ實際的ニハム  
ツカシイト云フコトハ過日來ノ委  
員ノ御質問ニ對スル政府ノ答辯デ  
明カデアルト思フノデアリマス、  
組合員ノ資格ヲ定款デ決メルト云

フコトハ宜シイケレドモ、ソレヲ  
實際的ニ定款デ決メルノニハドウ  
云フ風ニ其ノ定款ノ規定ヲ拵ヘサ  
セルノデアアルカ、此ノ點ニ付テ政  
府ノ御所見ヲ伺ヒタイノデアリマ  
ス、ソレカラ此ノ第七條ニ依リマ  
スト、第一號ニ「一定地區内にお  
いて商業、工業又は鑛業を行ふ  
者」是ガ組合員タル資格者ニナツ  
テ居ル、ソコデ東京都内ナラバ、  
東京都内デ商業ヲ營ム者ガ所謂商  
業協同組合ト云フモノヲ作ルコト  
ニナル、工業ヲ營ム者ハ工業協同  
組合ト云フモノヲ作ルコトニナル  
ト思フノデアリマス、ソコデ商業  
協同組合ノ組合員ガ東京都内ノ工  
業協同組合員ニナレルカドウカ、  
此ノ點ニ付テ政府委員カラシテ此  
ノ業務ノ關聯性ガナケレバナラス  
ト云フ御説明ガアリマシタガ、此  
ノ關聯性ト云フコトモ實際ニ於テ  
ハ甚タ微妙ナモノガアルト思フノ  
デアリマス、若シ其ノ限界ガ素レ  
ルト云フコトニナリマス、商業  
協同組合デアアルカ、工業協同組合  
デアアルカ、得體ノ知レナイ組合ト  
云フモノガ實際的ニ出來上ルト同  
時ニ、又其ノ組合ノ内部ヲ擾亂ス  
ルト云フヤウな意味合ヲ以テ、工  
業關係者ガ商業關係者ノ方ニ入ツ  
テ來ル、又商業關係者ガ工業關係  
者ノ方ニ入ツテ來ルト云フヤウナ  
結果ガ實際的ニハ生ジハセヌカト  
思フノデアリマス、此ノ點ニ付キ  
マシテモ實際上ノ運營ニ付テハ大

イニ考慮シナケレバナラヌ場合ガ  
アルト本員ハ存ズルノデアリマ  
ス、ソレニ付テ私チヨツト疑問ニ  
シテ居リマスノハ、露店商人ノ如  
キハ第一ノ商工業者ノ商業ヲ行フ  
者ト云フ中ニ入ルモノデアアルカド  
ウカ、之ヲ此ノ際承ツテ置ク方ガ  
都合ガ宜シイノデアリマス、第三  
ニハ出資ノ金額デアリマスガ、本  
案ニ依リマス組合員ハ出資一口  
以上持タナケレバナラス、出資一  
口ノ金額ハ均一デナケレバナラス  
ト云フコトニナツテ居リマシテ、  
其ノ出資金額ノ最低最高ト云フモ  
ノガ本案デハ決メラレテ居ラナイ  
ノデアリマス、是ハ思フニ此ノ施  
行令ノ規定ニ御譲リニナル、讓ル  
ト云フ趣意デハナイカト思フノデ  
アリマスガ、ソレニ致シマシテモ  
施行令ニ於テハ大體ドレ位ノ金額  
ヲ一口ノ出資金額トスルト云フ政  
府ノ積リデアアルカ、ソレヲ一ツ  
伺ヒタイノデアリマス、此ノ出資  
金額ノ一口ノ多イカ少イカト云フ  
コトハ本組合ノ成立、又ハ延イテ  
ハ本組合ノ業務ノ運營ニ非常ニ關  
係ヲ持ツテ居ル重大ナル事柄デア  
ルト思フガ、敢テ此ノ點ニ付テモ  
政府ノ御考ヲ明カニ致シテ置キタ  
イト思フノデアリマス、第四ニハ  
經費ノ賦課デアリマス、組合員カ  
ラ經費ヲ賦課徵收スルコトデアリ  
マスガ、此ノ賦課ハ、是ハ一方的  
ニ出來ルノデアルト思ヒマスガ、  
此ノ賦課シタ經費ヲ取立テルト云

フ方法ニ付キマシテ強權ヲ加ヘル  
ト云フコトハ本案デハ認メラレテ  
居ラナイヤウデアリマス、果シテ  
ソレデ實際ノ運營ガ付クカドウ  
カ、尤モ經費ノ徵收ニ付テ權力ヲ  
持タセルト云フコトニナリマス  
ト、本組合ハ私法人デナクシテ公  
法人ト云フコトニナルカモ知レナ  
イ、併シナガラソレハ兎モ角トシ  
テ、實際的ニハ經費ノ徵收ニ付  
テ、賦課シタ經費ノ徵收ニ付テド  
ウモ或程度ノ強權ヲ認メルノガ宜  
イノデハナイカト私ハ考ヘテ居ル  
ノデアリマス、若シサウ致シマセ  
スト云フト、滯納シタ組合員ニ對  
シマシテ、經費ヲ取立テル場合ニ  
ハ、一々裁判所ヘ訴ヘ、裁判所ノ  
保護ニ依ラナケレバ其ノ取立ガ出  
來ナイト云フ結果ニナルノデアリ  
マス、詰リ賦課シタ經費ノ徵收ニ  
付テ或程度ノ強權ヲ認メル必要ガ  
アリヤセヌカト云フコトニ付テ  
政府ノ所信ヲ伺ヒタイノデアリマ  
ス、ソレカラ第五ニハ、五十三條  
デ「この法律又はこの法律による  
命令に基く行政官廳の處分に不服  
のある者は、行政官廳に訴願し、  
又は行政裁判所に出訴することが  
できる」とアルノデアリマス、例  
ヘバ總會ノ招集ノ手續ガ違法デア  
ル、又其ノ總會ノ決議ガ定款若シ  
クハ法令ノ規定ニ違反シテ居ルト  
云フ場合ニハ、其ノ決議ノ取消ヲ  
行政官廳ニ申立ガ出來ル、其ノ行  
政官廳ノ申立ニ對スル處分ニ付テ

ハ、矢張り五十三條ノ適用ニ依ツテ訴願シ、行政裁判所ニ出訴スルコトガ出來ル、斯ウ云フコトニナルト思フノデアリマス、又行政官廳ガ解散ヲ命ジタ場合ニ、其ノ解散ノ命令ニ對スル不服ノ申立モ矢張り五十三條ニ依ツテ訴願若シクハ出訴ガ出來ル、斯ウ云フコトニナルト思フノデアリマス、處ガ此ノ前ノ總會ノ決議ガ違法デアルト云フコトニ依リ出訴、取消ノ申立ニ付テハ、三十日ノ制限ガ附セラレテ居ルノデアリマスガ、解散命令ニ對スル不服ノ申立等ニ付キマシテハ、訴願及ビ出訴ニ付テ其ノ制限規定ガ設ケラレテ居ラナイヤウニ見受ケルノデアリマス、若シ見落シデアレバ宜シウゴザイマスガ、サウスルト解散ノ處分ニ對シテ、解散ノ命令ニ對シテハ何時デモ訴願若シクハ出訴ガ出來ル、斯ウ云フコトニナツテ甚ダ面白クナイコトニナリハセヌカト思フ、ソレカラ勞資關係ノ調整法デハ、勞働組合ノ解散ヲ命ズルコトハ、是ハ裁判所ノ行フ處分ニ委セテ居ルノデアリマス、而シテ此ノ裁判所ノ處分ニ對シテハ不服ノ申立ガ出來ルト云フコトニナツテ居ルノデアリマスガ、本法デハ、本組合ノ解散ハ行政官廳ノ處分ニ委ネラレテ居ル、而モ此ノ行政官廳ノ處分ニ對シテハ訴願出訴ガ認めラレル、斯ウ云フコトニナツテ居ツテ、ドウモ勞資、關係ノ調整法ノ

解散ノ場合ト、本法ノ本組合ノ解散ノ場合トガ法律上ノ取扱ニ於テ異ナルモノガアリマス、是ハドウ云フ理由ニ依ツタノデアアルカト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス、ソレカラモウ一ツ小サイコトデアリマスガ、五十三條ノ規定ニ依リマススト云フト、「行政裁判所ニ出訴することが出来る」とアル、處ガ御承知ノ通りニ、改正憲法ノ下ニ於キマシテハ、行政裁判所ト云フモノハナクナルノデアリマス、マダ改正憲法ハ出來上ツテ居リマセヌケレドモ、モウ出來上ル氣運ニナツテ居ルノデアリマスカラ、其ノ改正憲法ノ下ニ認めラレナイ行政裁判所ニ出訴スルコトガ出來ルト云フコトヲ條文ニ書カハスト云フコトハ、立法技術ノ上ニ於テ如何ナモノデアラウカト云フコトヲ私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、國ノ裁判所ニ出訴スルコトガ出來ルト云フ風ニシタ方宜イノデハナイカト存ジテ居リマス、ソレカラ解散ノ場合ニ付テデアリマスガ、解散ヲシテ清算人ガ出來テ、債權債務ノ處理ヲスル、債務ヲ辨濟シタ上デナケレバ組合ノ財産ヲ處分スルコトガ出來ナイト云フコトニナツテ居リマス、處ガ債務超過デ組合ノ財産ヲ以テシテハ債務ヲ完済スルコトガ出來ナイ場合ニハ、是ハ法律手續ニ移サナケレバナラヌ、此ノ法律手續ニ移ス階段ニ於テ、清算人ハ債務ノ辨濟ヲドウ云

フ風ニ處置シテ宜シイカト云フコトニ付テハ、民法ノ公益法人ノ清算ニ付キマシテ大イナル疑問ガ多アルノデアリマス、殊ニ辨濟期ノ到來セルモノト處置ハドウスルカ、ソレカラ又辨濟期ノ到來セル債務ニ付テ請求ガアツタ時ハ、清算人ハ其ノ請求ヲ拒ムコトガ出來ルカドウカト云フヤウナコトニ付テ多クノ疑問ガアリマシテ、又ソレニ對スル規定ガ不備ニナツテ居ルノデアリマス、此ノ不備ナ民法ノ公益法人ノ清算ニ關スル規定ガ、本法デハ大部分準用サレテ居ル、此ノ準用ノ關係ニ於キマシテハ、今申シマシヤウニ、清算手續ノ遂行ノ上ニ於テ起ル所ノ幾多ノ疑問ヲ消ス爲ニハ、此ノ民法ノ財産分離ノ千三十條、千三十一條、千三十三條等ノ規定ヲ本組合ノ清算ニ付キマシテモ、少クトモ準用サレルノガ宜クハナカウタカト思フノデアリマス、然ルニ此ノ民法ノ極ク粗策ナ公益法人ノ清算ニ關スル規定ヲ其ノ儘御準用ニナツテ、サウシテソコニ或缺陷ヲ殘サレテ居ルト云フコトハ、是亦立法技術ノ上ニ於テハ甚ダ面白クナイ事柄デアルト本員ハ考ヘテ居ルノデアリマス、以上ノ諸點ニ付キマシテ政府ノ御答辯ヲ煩シマス

○政府委員(小出榮一君) 只今ノ御尋ノ第一點ノ商工協同組合ノ共同施設ノ限界ニ關スル問題デゴザイマスガ、之ニ付キマシテハ、昨日商務局長カラモ御答ヘ致シマシヤウニ、組合ノ共同施設ト云フ言葉ハ必ズシモ言葉ソレ自體ニ於キマシテハ明確デナイモノガアルノデアリマシテ、要スルニ共同事業ト云フ程度ノ意味デゴザイマシテ、代表ノ例ト致シマシテハ、共同仕入ヲシタリ、或ハ共同販賣ヲシタリ、保管事業ヲ行ツタリ、運搬事業ヲ行ツタリ、乃至ハ金融事業ヲ行フ等、各種ノ共同施設ガアルノデゴザイマスルカラ、其ノ場合ニ於キマシテ、御指摘ノヤウニ織物ノ製造業者ガ其ノ工程ノ一部分デアル糊付デアルトカ、或ハ染色ト云フヤウナ部分ダケヲ、部分的ノ共同事業ヲスルト云フノガ通常ノ例デゴザイマススケレドモ、御話ノヤウニ場合ニ依リマシテハ、原材料ノ、絲ノ購入カラソレノ織上ゲ、染色、糊付ト、各種ノ工程、最後ノ製品ノ販賣ニ至ル迄一貫致シマシテ、全部組合ノ事業トシテヤツテシマフト云フコトニナリマスルト云フト、其ノ場合ニ於キマシテソレガ組合員ノ總意ニ基クモノデアリマシテモ、結局組合員個々ノ營業ト云フモノノ獨立性ガ全クナクナリマシテ、組合員個々ノ營業ノ獨立性ヲ全部奪ヒマシテ、組合員ガ本來爲スベキ事業ヲ、組合ガ全部ヤツテシマフ、組合員ハ單ニ組合ノ出資者デアリ、株主デアリ、或ハ職員デアリ、勞務者ニ過ギナイト云フ風ナ、極端

ナ段階ニ立到リマシタ場合ニハ、是ハ商工協同組合ノ本質ニ反スルノデアリマシテ、組合ト申シマスル以上ハ、株式會社トハ違フ譯デアリマスルノデ、個々ノ組合員ハ矢張り業者トシテノ獨立性ヲ持ツテ居ナケレバナラヌノデアリマスカラ、其ノ限度ニ達シマスルト云フト、是ハ組合ノ共同施設、或ハ組合ト云フコトサヘモ出來ナイノデハナイカ、斯様ニ考ヘマシテ、其ノ線ニ限界ヲ取ツテ居ルノデゴザイマス、併シナガラ組合ノ共同施設ガ相當範圍ニナリマシテ、場合ニ依リマシテハ、相當其ノ製造業ニ致シマシテモ、工程ノ大部分ノモノヲ共同作業場ヲ設ケマシテ、其處デ製造シテシマフト云フ風ナコトニナリマシテモ、ソレガ組合員全體ノ共同ノ出資ニ依リマシテ、共同ノ設備ニ依リマシテ、共通ノ事業トシテ行ハレル限リニ於キマシテハ、是ハ必ズシモ組合員ヲ壓迫シテ居ルト云フ風ナコトニモナラナイカト考ヘルノデアリマシテ、組合員ガ御互ノ利益ヲ増進スル爲ニ、總會ノ意思決定ニ基キマシテ、皆デサウ云フ事業ヲヤラウト云フコトニナリマスレバ、必ズシモ是ハ排除スベキモノデナイカト考ヘマスルガ、ソレガ最モ極端ナ場合ニナリマシテ、組合員ハ自分デハ仕事ヲシナイデ、専ラ組合ダケガ仕事ヲシテ居ルト云フ風ナ段階ニ立到リマシタナラバ、

是ハ組合トハ認め難イ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマシテ、其ノ邊ノ所デ共同施設ノ境界ヲ考ヘテ居ル次第デゴザイマス、具體的ノ例ヲ申シマスレバ、過去ノ事例デゴザイマスルガ、丁度食糧營團ガ出來マスル直前ニ於キマシテ、米ノ小賣業者ノ商業組合ガアツタノデゴザイマスルガ、此ノ商業組合ハ全ク組合デケガ米ノ販賣ヲ致シテ居リマシテ、組合員ハ單ニ組合ノ株主デアリマシテ、組合カラ一定ノ給料ヲ貰ツテ居ルト云フ程度ノ段階ニ立到ツタコトガゴザイマスルガ、斯ウ云フヤウナ事例ガ若シ將來再ビ起リマスルトシマスレバ、是ハ殆ド組合員ノ本體ヲ成サナイモノデアアル、斯様ニ考ヘテ居リマスルガ、サウ云フ風ナ極端ナ場合ハ別ト致シマシテ、相當程度ニ共同事業ヲ行フト云フコトハ、是ハ必ズシモ排除スベキモノデハナカラウトス様ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス、ソレカラ第二點ノ組合員ノ資格ニ關聯スル御尋デゴザイマスガ、御話ノ通り此ノ協同組合ハ中小企業ノ振興ト云フコトヲ主眼ニ致シテ居リマシテ、其ノ邊ニ重點ヲ置イテハ居ルノデゴザイマスルガ、組合員ノ資格ト致シマシテハ必ズシモ大企業者ヲ排除シテ居ル譯デハナイノデゴザイマシテ、却テ大キナ親工場デアルトカ或ハ間屋ト云フ風ナモノヲ中心ニ致シマシテ、ソレニ關聯ノアル

下請業者ナリ、或ハ加工業者ト云フモノガ一緒ニナツテ組合ヲ作ルコトニ依リマシテ、結局中小企業全體ノ振興ヲ圖ルコトガ出來ルト云フ場合モゴザイマスルノデ、大企業者デアルカラト云ツテ此ノ組合ノ「メンバー」ニナレナイト云フコトハナイ譯デゴザイマスルガ、飽ク迄其ノ組合ノ運営ナリ狙ヒハ、御話ノ通り中小企業ノ振興ト云フコトニ在ル譯デゴザイマシテ商業者デケガ組合ヲ作ツタリ、或ハ工業者デケガ組合ヲ作ツタリスルノガ、大體同業者ガ作ルノガ原則デアリマシテ、場合ニ依リマシテハ商業者ト工業者ガ一緒ニ組合ヲ作ルト云フ場合ガ出來テ來ルノデアリマシテ、其ノ場合ニ組合ノ性格ガハツキリシナイデハナイカト云フ御話デゴザイマスガ、是ハ結局當テ重要物産同業組合法ト云フモノガゴザイマシテ、是ハ或一ツノ織物ナラ織物ト云フ製品ニ關聯ノアル業者、結局問屋サンモ加工業者モ卸賣業者モ小賣業者モ、商業工業一緒ニナツテ凡ソ關聯ノアリマスルモノデアリマシレバ、皆組合ヲ結成スルト云フコトガ本體デアツタノデゴザイマスガ、今度ノ商工協同組合デハサウ云フ事例モ相當多カラウト思ヒマス、從ヒマシテ法人ノ上ニ於キマシテハ、商工合體ノ組合ヲ豫想致シマスルモノモ多イノデアリマ

スルガ、矢張り其ノ場合ニ其ノ本體トナツテ居ル所ノ取扱ノ物資ト云フモノヲ見マスレバドウ云フ性質ノモノデアアルカト云フコトガ自カラ明カニナルト考ヘテ居リマシテ、必ズシモ商工トガ一緒ニナツテ居ルカラ性質ガ明確デナイト云フコトハ實ヘナイト思フノデアリマシテ、要スルニ如何ナル産業ニ關聯シテ商業者工業者ガ一緒ニナツテ居ルト云フコト、産業ヲ見マスレバ自カラ線ガ引ケルノデハナイカト斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、ソレカラ尙之ニ關聯致シマシテ露店商ガ組合ヲ作レルカドウカト云フ御話デゴザイマスガ、勿論露店商ト雖モ、一定ノ場所ニ於キマシテ一定ノ商品ヲ小賣致ス小賣業者ノ一ツノ形態ニ過ギナイ譯デアリマス、從ヒマシテ組合ノ定款ニ於キマシテ、定款ノ決メ方如何ニ依リマシテハ露店商ト雖モ組合ヲ結成スルトガ出來マシテ、例ヘバ恒久的ナ一定ノ店舗ヲ以テヤルト云フ風ナ特別ナ制限ヲ設ケマシテ、ソレヲ組合ノ資格ニ致シテ居リマスル場合ニ於キマシテハ、サウ云フ組合ニハ露店商ハ入レナイ譯デゴザイマスガ、露店商ハ露店商ダケデ組合ヲ作ルト云フコトハ勿論可能デゴザイマシテ、現在ハ此ノ露店商組合ト云フヤウナ任意組合ニナツテ居リマスルガ、斯ウ云フモノヲ將來

段々健全ナ協同組合ニ發展スル方ガ寧ロ宜イノデアリナカト斯様ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス、ソレカラ次ニ出資金額ノ御尋デゴザイマスガ、出資ノ一口ノ金額ハ御話ノ通り均一デナケレバナラナイト云フ規定ガ第二十一條ニアル譯デアリマシテ、其ノ出資金額ノ最小限度ハ何圓デアアル、或ハ最高限度ハ何十圓迄ト云フヤウナ制限ハ法律ノ上ニ設ケテ居リマセヌシ、又ハ施行規則其ノ他ノ命令ニ於キマシテモ何等制限ヲ致サナイ積リデゴザイマス、是ハ各組合員ノ自由ナ意思ニ依リマシテ、事業ヲ行ヒマスルニハ一先ツ幾ラガ宜イカト云フヤウナコトヲ御互ニ相談シテ決メレバ宜シイ譯デゴザイマシテ、別段之ニ付キマシテ最低限、最高限ヲ設ケル必要ハナカラウト、斯様ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス、ソレカラ次ニ經費ノ賦課ニ關スル第二十七條ノ規定デゴザイマスルガ、是ハ此ノ經費ノ賦課ト申シマスルハ、本來組合ハ共同事業ヲ行ヒマスルノデ、其ノ共同施設、共同事業ト云フモノハ飽ク迄モ出資金ニ依ツテ之ヲ行フベキデ、經費ノ賦課ヲ致シマスルノハ、唯組合ノ事務費デアリマスルトカ、或ハ人件費デアリマスルトカ云フ風ナ經常的ニ要シマスル經費ヲ賦課スルニ止マルノデアリマシテ、是ハ寧ロ全體ノ組合運営ノ上カラ申シマスレバ附隨的ナモ

ノデアリマスルシ、此ノ經費ノ賦課金ノ強制徵收ヲヤルト云フコトハ、是ハ協同組合ガ本當ニ民主的ニ組織セラレマシタ團體ト云フ本質カラ申シマシテ、其ノ本質ニ反スルモノト考ヘルノデアリマス、過去ニ於テ商工會議所ト云フモノナリ、現在ノ商工經濟會ガ矢張り強制加入、ソレカラ強制徵收、經費ハ市町村稅ノ例ニ依リマシテ強制徵收ガ出來ルト云フ規定ナノデゴザイマスガ、是等ハ各人ノ自由ナ意思ヲ壓迫スルモノデアルト云フ考ニ基キマシテ商工會議所、經濟會法モ廢止ニナリマスルシ、其ノ後ニ於キマシテハ全ク民主的ナ會議所ヲ作ルト云フ關係ニナツテ居リマシテ、協同組合ニ於キマシテモ統制組合ノ如ク統制事業ヲ行ヒマセヌ純然タル私的ナ事業デアリマスルノデ、強制的ニ經費ヲ取上ゲルト云フコトハ、是ハ適當デナカラウト、斯様ニ考ヘマシテ強制徵收ニ關スル規定ハ置カナカツタ譯デゴザイマス、ソレカラ次ニ第五十三條ノ行政訴訟ニ關スル御尋デゴザイマスルガ、此處ニ申シテ居リマスル行政訴訟ガ出來マスル場合ト申シマスルハ、此ノ法律又ハ此ノ法律ニ依ル命令、即チ地方令デアリマスルトカ、或ハ施行規則ト云フモノニ依ツテ行ヒマスル行政官廳ノ色々ナ監督處分ニ對シマシテ不服ガアリマスル場合ニ對シマシテ、其ノ行政官廳ニ、是

ハ大體主務大臣ト考ヘテ居リマス  
ルガ、主務大臣ニ訴願シ、或ハ行政裁判所ニ出訴スルコトガ出來ル、斯ウ云フコトヲ規定シタニ過ギナイノデアリマシテ、從ツテ行政官廳ノ何等カノ處分ト云フコトガ前提ニナツテ居リマシテ、行政官廳ノ行政處分ガナイ場合ニ於キマシテハ、之ニ對シマシテ、イキナリ行政訴訟ヲスルコトハ出來ナイノデゴザイマス、デ、ソレニ關聯致シマシテ總會ノ招集手續ガ違法デアルト云フ風ナ場合、之ニ對シマシテ第二十六條ノ規定ニ依リマシテ組合員ガ其ノ總會ノ決議ノ日カラ三十日以内ニ決議ノ取消ヲ行政官廳ニ請求出來ル、斯ウ云フ規定ガアル譯デゴザイマスルガ、此處ニ申シテ居リマスル決議ノ取消ノ請求ト云フハ、五十三條ニ言ツテ居リマスル行政訴訟デハナイノデゴザイマシテ、是ハ單ニ一部ノ組合員ガ總會ノ招集手續ハドウモ違法デアルト云フ場合ニ決議ノ取消ト云フ一ツノ行政處分ヲ行政官廳ニ御願ヲスル、行政處分ノ發動ヲ願ヒタイ、斯ウ云フコトデアリマシテ、其ノ決議ノ取消ト云フコトガアツテ始メテソコニ行政處分ガ出テ來ル譯デアリマシテ、其ノ處分ニ對シテ更ニ不服ガアリマスル場合ニ、始メテ第五十三條ノ行政訴訟ト云フコトニナツテ來ル譯デアリマシテ、解散ノ場合等ト別段不均衡ハナイモノト考ヘテ

居ル次第デゴザイマス、ソレカラ次ニ勞働組合法トノ關係ニ於キマシテ一般ニ解散命令其ノ他ハ司法裁判所ニ於テ管轄シテ居ル譯デアリマスルガ、此ノ法案ニ於キマシテハ行政裁判所ガ之ヲ取扱フト云フノハドウカト云フ御話デゴザイマシタガ、此ノ協同組合法ニ依リマス行政官廳ト云フモノノ運營ハ大體ニ於キマシテ、一般的ニ此ノ監督上ノ行為ハ裁判所ガ直接ニハ「タツチ」シナイコトニナツテ居リマス、唯登記ノ關係等ニ於キマシテ、司法裁判所ガ關與スルダケデゴザイマス、勿論是ハ日本ノ法制全體ノ建前カラ申シマシテ、一般的ニ斯ウ云フ風ナ行政の法律ニ付キマシテハ、總テ行政官廳ガ關係シ、從ツテ行政裁判所ガ關與スルト云フノガ通例デゴザイマシテ、「アメリカ」等ノ例ニ於キマシテハ是ト全然異リマシテ、普通ノ裁判所ト云フモノガ非常ニ行政方面ニモ十分ノ能力ヲ持ツテ居リマシテ、色々ナ許可認可等ハ大體裁判所ガヤルノデ、行政官廳ガ之ニ「タツチ」スルハ寧ろ例外ニナツテ居リマスガ、日本ノ從來ノ慣例又司法裁判所ノ從來ノ經驗等カラ申シマシテ、之ヲ裁判所ニ持ツテ行クト云フコトハ適當デハナカラウト考ヘマシテ、一般ノ例ニ從ツタ譯デゴザイマス、勞働組合ノ場合ニ付キマシテハ、私詳シク其ノ立法ノ理由ヲ承知致シテ居リマ

セスガ、恐ラク勞働爭議其ノ他ニ於キマシテハ相當司法裁判所ノ「タツチ」スベキ事態モアリ得ルト云フヤウナ關係モアルデハナイカト考ヘテ居リマスガ、少クトモ協同組合ニ關シマシテハ行政官廳ノ系統ニ於テ一貫シテ之ヲ取扱フ、斯ウ云フ風ナ建前ニ致シタノデゴザイマス、ソコデ新憲法ニ於キマシテ、行政裁判所ト云フ制度ガ勿論變リ譯デゴザイマスガ、其ノコトヲ豫メ豫定致シマシテ、此處ニ行政裁判所ト云フモノヲ廢メテ、他ノ新らしい憲法ニ基ク裁判機構ヲ織込ムベキデハナイカト云フ、斯ウ云フ御尋ハ御尤モデアリマスガ、併シナガラマダ憲法ハ草案ノ程度デゴザイマシテ、マダ實施ハナイ譯デゴザイマスノデ、現行憲法ガ出來テ居リマス限り、此ノ現行憲法ノ下ニ於テ法律ヲ立案セザルヲ得ナイノデゴザイマス、又實際問題ト致シマシテモ、此ノ協同組合法ガ施行ニナルハ新憲法ノ施行ヨリモズツト早クナリマスノデ、斯ウ云フヤウナ規定ニ致シタノデゴザイマス、勿論將來新憲法ガ實施ニナル時ニ於キマシテハ、有ラユル法律ハ新憲法ノ鑑ニ照シマシテ、ソレト調整ヲ圖ルト云フ事態ガ當然起ツテ來ルコトハ勿論デゴザイマスガ、現在ノ所ニ於キマシテハ斯ウ云フ風ナコトニセザルヲ得ナイト思フノデゴザイマス、ソレカラ最後ノ解散ノ場合

ノ清算ノ問題デゴザイマスガ、御話ノ通り清算ニ入りマシテ、債務超過破産ノ手續ノ段階ニ入ルト云フヤウナ場合ノ規定ニ對シマシテハ、民法ノ規定ヲ大體ニ於テ、準用致シテ居ルノデゴザイマスガ、其ノ場合ニ民法ノ規定ガ不備デアリマシテ、第千三十條或ハ第千三十一條等ノ規定ヲ準用スベキデハナイカト云フ御尋デゴザイマスガ、大體從來ノ各種ノ組合ノ法制ニ於キマシテモ、此ノ程度ノ準用ニ致シテ實際上運營致シテ參ツタノデアリマス、若シ尙民法ノ解釋上色々専門的ニ不備ノ點等ガゴザイマスレバ、尙十分研究致シマシテ、是ハ場合ニ依リマシテハ施行規則ト云フヤウナ點ニ於キマシテモ多少考慮ノ餘地ハアラウカト考ヘテ居リマス、尙其ノ點ハ十分ニ我々ト致シマシテモ御意見ヲ尊重致シマシテ研究ヲ致シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○吉田久君 大體御説明デ了解致シマシタガ、第一ノ共同施設ニ付キマシテ私が申上ゲマシタノハ、組合員以外ノ中小商工業者ノ業務ヲ壓迫スルコトニナリハセヌカ、組合ノ業務ノ運營如何ニ依リマシテハ、組合員デナイ、組合ニ入ラナイ中小商工業者ノ業務ヲ壓迫シヤシナイカ、又小工業者ノ如キハ、本組合ニモ入ラナイダラウト思ヒマス、サウ云フ小工業ノ壓迫ヲスルコトニナリハシナイカト云フコトニ付テ心配ガアリマスノデ、其ノ點ヲ主トシテ伺ツタノデアリマス、組合員自身ハ自己ノ意思ニ基キマシテ、取決メラシタコトニ付テ業務ヲ運營シテ行クトニ付テ、如何様ナル結果ガ自分等ノ身ニ振掛ツテ參リマシテモ、是ハ自業自得、少シモ他カラ彼此レ言ハレル筋合ハナイノデゴザイマスルガ、併シナガラ本組合ハ強制組合デハナイデスカラ、組合ニ入ラナイ所ノ業者モアルダラウト思フ、又隨分相當ノ數アリハセヌカト思フノデアリ、其ノ業者ノ業務ヲ壓迫スルト云フコトガ、本組合ノ業務ノ運營ニ付テ、多大ノ心配ガアルト考ヘテ居ルノデアリマス、デアリマスルカラ矢張り申上ゲマシタヤウニ、本組合ノ目的トスル所ノ共同施設、共同生産ノ關聯ト云フコトヲ認メル一切ノ處置ニ付テハ、十分ナル考慮ヲ拂ハナケレバナラヌ、先程御説明ガアリマシタヤウニ共同施設ガ一本ニナリマスト云フト、結局組合ガ結果ニ於テハ獨占業ヲ營ムト云フコトニナルノデアリマス、此ノ關係ガ餘程微妙ナモノガアリマシテ、其ノ實際ノ處置ノ如何ニ依リマシテハ、隨分惡い弊害ガ起ツテ來ルト考ヘテ居ルノデアリマス、此ノ點ヲ心配致シマスルガ爲ニ、本員ハドウカ當局ニ於カレテハ共同施設ニ付テモ、共同性ノ關係ヲ實際的ニ認メル處置ニ付テ、十分ナル御

考慮、御用意ヲ願ハナケレバナラヌト云フコトヲ要望致スノデアリマス、ソレカラ出資金額デアリマスルガ、此ノ定メ如何ヲ見マスルト云フト、是ハ最高最低ハ法律デハ決メナイ、各組合ノ自治ニ任セルト云フコトデアリマシタ、ソレデ宜カラウト思ヒマスガ、サウ致シマス、ドウモ色ガ着キマシテ、其ノ組合ヲ組織スル組合員ニ一種ノ色ガ着キマシテ、民主的デナイモノガ私ハ出來ヤセヌカト思フノデアリマス、デアリマスルカラ、私ノ考ヘデハ、最低、ドンナ小サナ商工業者デモ、組合ニ入ラウト思ヘバ入レル位ノ程度ノ金額ヲ、法律ノ上デ大凡ソ決メタ方宜イデヤナイカ、サウシテ又出資ノ額ニ應ジテ、表決權ニ差等ヲ設ケルノガ宜イデハナイカ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、本案デハ表決權ハ各人一個平等ト云フコトデ、其ノ點ハ非常ニ民主的ト言ウテ宜シイコトデアリマセウ、或ハ民主的ニナリ過ギテ、實際ノ組合ノ運営、又組合ヲ組織スル各種ノ活動ト云フコトニ、阻碍ヲ來シハセヌカト云フコトヲ私ハ心配スルノデアリマス、ソレダケ中上ガテ置キマス

○政府委員(吉田悌二郎君) 共同施設ノ設置、竝ニ運用ニ付テノ御注意ハ、實行ノ上ニ於テ特ニ考慮シテ参リタイト考ヘテ居リマス、仰セノヤウナ共同施設、共同設備

等ヲ作リマス場合ニ、例ヘバ先程ノ織物ノ例ノ中デ、染色加工ノ設備ヲヤルト云フ場合ニ、織物業者トシテハ非常ニ生産ノ合理化トナルノデゴザイマスガ、同時ニ染色加工ヲ専門ニヤツテ居ル業者ガアリマシテ、其ノ方ガ失業スル例ガゴザイマス、染色加工業者ノ壓迫ニナツタト云フ例ガゴザイマスガ、サウ云フ場合ニハ過去ノ實例ト致シマシテハ、其ノ設備ヲ買収スルコトニ依ツテ補償シタト云フヤウナコトモゴザイマシテ、運用ニ於テ成ルベク不當ノ壓迫ノナイヤウニ致シテ参リタイト思ヒマス、併シ原則ト致シマシテ、矢張り今後ハサウ云フ競争ニ依ツテ優勝劣敗ノ事態ガ、産業ノ伸展ニハ是非トモ必要デゴザイマスノデ、經營ヲ合理化シテ行ク爲ニ、合理化ノ線ニ遅レタ人ガ仕事ノ上ニ壓迫ヲ受ケルコトハ、或程度今後ニ於テハ起ルコトデハナカラウカト考ヘマシテ、從ヒマシテ成ルベク同業者ノ方デ、サウ云フ共同設備ニ依ツテ事業ノ改善ヲ圖ツテ行クト云フ場合ニハ、成ルベク之ニ參加シテ戴キマシテ、又仲ノ良イ人達ニ依ツテ別ノ組合ヲ作ルコトニ依ツテ、其ノ事業ノ合理化ヲ圖リ、進歩ヲ圖ル、斯ウ云フヤウニ進メテ行キタイト思ヒマス、日本ノ産業モ今後海外ノ産業ト競争シテ、輸出市場等ヲ確保スル爲ニハ、相當ノ合理化ヲ圖ツテ行カナ

ケレバナラヌカト考ヘマスルノデ、現狀維持ノミニ重點ヲ置キマスルト、其ノ心配ト云フモノガナクナリマスルノデ、或程度ノ進歩、改良、發達ノ出來マスヤウナコトヲ矢張り組合ノ事業ニ依ツテヤツテ行クコトガアルト思ヒマス、サウ云フ場合ニハ成ルベクツレニ皆サンガ合流ヲシテ戴キマシテ、其ノ改善ノ線ニ沿フヤウニ御協力ヲ願フヤウニ致シタイト思ヒマス、又行政官廳ノ方面ニ於キマシテモ、サウ云フヤウナ御指導デ不當ノ壓迫ガナイヤウニ、合理化ノ方ニ參畫ヲシテ戴クコト、斯ウ云フヤウニシテ行キタイト思ツテ居リマス

○委員長(男爵肝付兼英君) 只今工務局長ト鑛山局長ガ出席シテ居リマスノデ、工務局、鑛山局關係ノ御質問ガゴザイマシタラ、此ノ機會ニ御願ヒ致シマス

○子爵交野政通君 鑛業ハ大體大ニ事業ノモノガ非常ニ多イヤウニ考ヘテ居リマスガ、協同組合ヲ拵ヘル必要ノアルヤウナ、中小ノ業者ハ鑛業ノ方面デハドンナモノガゴザイマスカ、其ノ點御説明願ヒタイ

○政府委員(池田欽三郎君) 只今御質問ノゴザイマシタ鑛山方面ハ、今御話ノゴザイマシタヤウニ、大體大キナ鑛山ガ主體ヲナシテ居ルノデアリマスルガ、鑛種ニ依リマシテ中小ノモノガ相當アル

ノデアリマス、例ヘバ鐵鑛山ニ付キマシテモ大キナ山モアルノデアリマスルガ、中小ノ山モ相當ゴザイマス、特ニ「マンガン」、「クロム」ト云フヤウナ鑛山ニ付キマシテハ、中小ノ山ガ中心ヲナシテ居ルト云フヤウナコトニナツテ居ルノデアリマシテ、是等ノ山ニ付キマシテ、例ヘバ共同物資ノ購入デアリマス、或ハ共同金融ト云フヤウナ面ニ於キマシテ、協同組合ヲ活用シテ行キタイト、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○子爵交野政通君 只今ノ御説明ノヤウニ、比較的小規模ナ鑛業モアルヤウナ御話デゴザイマシタガ、大體鑛業ハ非常ニ遠隔ナ地位ニアリマシテ、各々非常ニ離レタ地位デ一ツノ獨立シタ企業ヲヤツテ居ルヤウニ思ハレマス、サウ云フ場合ニ共同購入ダトカ、色々ナサウ云フ共同ノ利益ヲ受ケルコトハ非常ニ少イヤウニ考ヘラレマスガ、其ノ點...

○政府委員(池田欽三郎君) 鑛山ノ數ハ大體金鑛山ニ於キマシテ千位アルノデアリマス、其ノ中所謂重要鑛山トシテ商工省ノ方デ指定シテ居リマス山ガ二、三百ト云フヤウナ數デアリマシテ、後ハ所謂中小鑛山ト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、御話ノヤウニ鑛山ハ地理的關係カラ致シマシテ、他ノ中小ノ商工業ノヤウニ共同施設ヲヤルト云フヤウナ分野ハ甚ダ少

イノデアリマスルガ、從來統制組合ト云フヤウナモノモゴザイマシテ、先程モ申シマシタ共同物資ノ購入デアリマスルカ、共同金融トカサウ云フヤウナ面ニ働イテ居ルモノモゴザイマシテ、今後サウ云フヤウナ面ニ於キマシテ此ノ協同組合法ヲ運用シテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、御話ノ通り他ノ商工業ニ較ベマスルト、其ノ活動範圍ニ付キマシテハ相當制限ヲ受ケルト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○委員長(男爵肝付兼英君) 他ニ鑛山局長ニ御質問モナイヤウデゴザイマスナラ、一言私質問サシテ戴キマス、是ハ鑛山局ト工務局ト兩方ニ關聯スル問題ダト思ヒマスガ、御承知ノヤウニ勞働組合法ガ制定サレマシテ、勞働者ノ地位ガ向上サレ、内容ガ充實サレルト云フコトハ、一面非常ニ結構ナコトデハゴザイマスルガ、之ガ爲ニ中小商工業者ニ及ス影響モ決シテ少クナイト思フノデゴザイマスガ、在來ノヤウナ中小商工業竝ニ小鑛山等ニ於キマシテ、極ク原始的ナ手段ニ依ツテ經營シテ居リマスル所ノ業者、事業者ト云フモノガ今後は等相當恒久化サレル勞働力ヲ利用スル力ガ十分ナイ場合ガ想像致サレルノデアリマス、サウナリマスルト、自然中小商工業、鑛山モ加ハリマスルガ、サウ云フ方面

ニ於キマシテモ、或程度ノ機械化ト云フコトガ當然考ヘラレテ來ル譯デアリマス、處ガ機械化スルト云フ爲ニハ生産額ノ増加、或ハ商品ノ捌ケ口ノ擴大ト云フコトガ當然考ヘラレネバナラヌノデゴザイマスルガ、現状ニ於テハ其ノ目的ヲ達スル爲ニ色々ナ障礙ガアル譯デアリマス、此處ニ非常ナ苦シイ問題ガ起ラウトハ思ヒマスルガ、併シナガラ勞働力ト云フモノガ相當能率化シ高度化スルト云フコトハ否メナイ事實デアル以上、事業者、經營者ト云フ者ニ於キマシテモ、勞働條件ニ對應スルダケノ手段ハ、好ムト好マザルトニ拘ラズドウシテモ採ツテ行カナレバナラヌト云フコトニナラウト思ハレマス、又將來ノ發展ノ上カラ云ツテモ、在來ノヤウナ所謂「ドメステイック・インダストリー」ト云フヤウナ形デ行クコトハ、日本ノ將來ニ決シテ望マシクナイト思フノデアリマスカラ、是等ニ對シマシテモ相當ニ小規模ナガラモ有ラユル部面ニ互ツテ機械化スルト云フコトガ、私ハ當然考ヘラレナケレバナラヌト思フノデアリマス、是等ニ付テハ矢張り政府ガ指導的立場ニ依ツテ、機械化スルト云フコトヲ當然考ヘラレル、ソレニハ此ノ協同組合法ノ如キモノヲ活用サレコトガ非常ニ私ハ賢明ダト思フノデアリマスルガ、サウ云フ難局ニ立ツテ居ル現在ノ日本トシ

テ、ソレヲ出來ルダケ機械化スルト云フコトニ付テノ御計畫ト云フヤウナモノガオアリデアリマセウカ、又サウ云フ御意思ガオアリデゴザイマセウカ、此ノ點ヲ兩局長カラ承ツテ見タイト思ヒマス

○政府委員(池田三郎君)

鑛山

ノ面ニ付キマシテ私カラ御答ヲ申上ゲタイト思フノデアリマスガ、御話ノ通り、中小ノ鑛山ニ於キマシテハ御話ノヤウナ點モゴザイマスルシ、又日本ノ鑛石ノ品位ナリ埋藏量ガ他國ニ較ベマシテ非常ナ見劣リガスルト云フヤウナ關係カラ致シマシテ、餘程合理的ニ經營ヲシナケレバ採算ガトレナイ、又外國ノ製品ニ對抗出來ナイト云フヤウナ實情ニアルノデアリマシテ、御説ノ通りニ之ガ合理化ヲ圖リマシテ、機械化ヲ促進スルト云フコトハ、是非ヤラナケレバナラヌト思フノデアリマス、其ノ點ニ付キマシテ今回ノ協同組合ヲ活用致シマシテヤルコトハ勿論デアリマスルガ、現在商工省ト致シマシテトツテ居リマスルヤリ方ハ、御承知ノ通り極メテ鐵鋼其ノ他ノ資材ガ現在ニ於キマシテ不十分デアリマシテ、新タニ機械ヲ作ツテソレヲ廻スト云フヤウナコトハ、サウ云フ面ニ於キマシテモ、又資金其ノ他ノ面ニ於キマシテモ、ナカナカ十分ニ參ラスト云フノガ實情デゴザイマス、ソレデ現在ヤツテ居リマス方法ト致シマシテ、戰爭

中戦力増強ト云フ爲ニ採算其ノ他ヲ總テ度外視シマシテヤリマシタ山、主トシテ鐵山「クローム」山、「マンガン」山、サウ云フ所ニ多イノデアリマスルガ、サウ云フヤウナ所ノ山ニアリマス現在遊シデ居ル機械設備、ソレヲ、今後増産シナケレバナラヌ所ノ例ハ銅山デアリマストカ或ハ硫化鐵鑛ノ山デアリマストカ、硫黃ノ山トカサウ云フ必要ナ方面ニ向ケテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居リマシテ、其ノ具體的ナ計畫ヲ全國鑛山會ヲ中心ト致シマシテヤツテ居ルノデアリマス、又戰爭中宇須、是ハ伊豆ニアリマス明礬石ノ山デアリマサガ、ソレヲ開發スル爲ニ相當アチコチノ山カラ機械設備ヲ運ビ込シダノデアリマスルガ、サウ云フヤウナ設備ヲ必要ナ山ニ再配置致シマシテ、必要ナ鑛石ノ増産ヲ致シタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○政府委員(鈴木重郎君)

一般工

業方面ニ於キマシテモ全ク同様デゴザイマシテ、御承知ノ通り今迄ノ中小工業ガ眞ニ堅實ナ發展ヲ遂ゲルニ色々ナ困難ナ事情ノ最モ大キナモノハ、矢張り技術ノ低劣ナ點ニアツタヤウニ見受ケラレルノデアリマス、今後ノ中小工業ガ眞ニ健全ナ發展ヲスル爲ニハ、何ト云フニ其ノ技術水準ヲ向上シ、其ノ經營ノ合理化ヲ圖ルト同時ニ、優秀ナ製品ヲ、而モ規格統

一ノ取レタ優秀ナモノヲ作り出スト云フコトガ根本デナケレバナラナイト存ズルノデアリマス、ソレニ付キマシテハ從來ノ中小工業者個々ノ設備ハソレモ、所謂纏ツタ工程ニ必要ナ機械ヲ持タイト言ツタヤウナ事柄ガ其ノ缺陷ヲ成シテ居ルノデゴザイマシテ、今後或製品ヲ規格統一ノ取レタ、而モ揃ツテ優秀ナ製品ニ纏メ上ゲルト云フコトニ付テハ、ドウ致シマシテモ此ノ共同施設等ニ依リマシテ、個々ノ業者ニハ入手難イヤウナ機械設備ヲ補ヒマシテ製品統一ヲ圖リ、優秀ナ製品ヲ作り上ゲルト云フコトガ最も必要デアルト存ズルノデアリマシテ、其ノ意味ニ於キマシテハ今後ノ中小工業等ニ於キマシテハ色々ノ面ニ於ケルサウ云ツタ機械化ト云フコトヨリモ、サウ云ツタ意味ノ製品ノ技術向上ナリ、或ハ規格統一ノ取レタモノヲ作ル爲ノ機械化ヲ特ニ必要デアルト考ヘマシテ、恐ラク協同組合ノ方面ノ利用セラレル理由モ中小工業ニ於テハサウ云フ點カラ改善サレテ行クト存ジテ居ルノデゴザイマス

○委員長(男爵肝付兼英君)

只今

ノ御説明デ一通リ了解致シマシタガ、私ノ最も心配スルノハ、今後ニ於ケル勞働問題ニ對シテハ如何ナル立場ヲ執ツテ行クカト云フコトガ相當問題デヤナカラウカト思

フノデアリマスガ、商工業者ニシテモ、五人、十人、或ハ數十人ヲ使ツテ居リマス會社ガ決シテ少クナイト思フノデアリマスルガ、是等ノ勞働者ガ在來ノ賃銀ト違ヒマシテ、非常ナ高率ナ賃銀ヲ要求シテ仕事ヲシテ行クト云フコトニナリマスレバ、規模ガ小サケレバ小サイ程其ノ採算ガ當然合ハナイト云フコトニナツテ來ルト思ヒマス、大規模ノ工場ニ於キマシテハソレヲ十分合理化スルトニ依ツテ、或程度ソレヲ「カヴァー」スルト云フコトモ得ルカモ知レマセヌガ、小規模ノ所謂中小商工業者ノ方ハ合理化スルトニ依ツテ其ノ賃銀「カヴァー」スル餘地ノナイノガ、私ハ非常ニ多イノヂヤナイカト思ヒマス、サウ云フ時ニドウシテモ勞働力ヲ減ラス意味ニ於テ機械力ニ替ヘルト云フコトガ當然考ヘラレテ來ルノデアリマ

○中田黨君 サウシマス、民主的ト云フノハ各組員ノ自由ナ意思ニ基ク、是タケデ宜イ譯ナンデスネ、本當ハサウ解シテモ宜イノデスカ、別ニ民主的ト云フ言葉ハ……

○政府委員(吉田悌二郎君) モウ少し色々アリマシテ、此處ニ書イテゴザイマス所ノ「組員の自由な意思に基き」、是ハ「組織され」ト云フ言葉ニ懸ツテ居リマスノデ、先ヅ作リマスコトガ自由ナ發議ニ依ルト云フコトガ書イテアルノデゴザイマシテ、「民主的に組織され」ト云フノハ其ノ外ニ只今申シマシタヤウニ、「運営され且」以下ノ方ニモ懸ル譯デゴザイマシテ、加入脱退ガ自由デアリマストカ、議決權ガ平等デアリマストカ云フヤウナ有エル制限ヲ持ツテ居ラスト云フコトニ全部懸ツテ居ル意味デゴザイマス

○中田黨君 サウシマス、民主的ト云フノハ民主的ト云フ言葉ガ甚ダ曖昧デゴザイマスケレドモ、詰リ自由平等ト云フヤウナ意味ニ解シテ宜イノデスネ

○政府委員(吉田悌二郎君) 大體

左様デゴザイマシテ、特別ナ拘束ヲ受ケナイ、個人ノ意思ガ拘束ヲ受ケナイデ組合ノ中デ活動ガ出來ル、斯ウ云フ意味デゴザイマス

○中田君 宜シウゴザイマス

○委員長 男爵肝付兼英君 第二章、十一條迄、御質問ハゴザイマセムカ、第三章ニ移リマス「第三章事業、十二條カラ二十條迄、御質問ヲ願ヒマス

○橋本萬右衛門君 昨日モ商品券ノコトニ付テ御尋ネ申上ゲタノデスガ、第十三條デスガ、甲ノ縣ニ於テハ出資額迄許可シ、又或縣ニ於テハ出資額ノ三倍迄發行ヲ許可スルト云フヤウナコトガアツテハ、矢張り銀行券ノ増發ト同ジヤ

ウニ惡現象ヲナスノデハナイカ、又露店商人ノ場合ニ於テハ信用薄弱ナルニ拘ラズ、又無制限ノ發行ヲスルヤウナ場合モアルデヤナイカト思フ、ソレデ出資總額ノ十分

ノ一トカ或ハ適當ナル額ニ制限スル御意思ハゴザイマセムカ、行政官廳ノ許可ヲ得テ出資總額ノ何分ノ一ヲ限度トシ云々、ト云フヤウナ制限ヲ御加ヘニナル御意思ハゴザイマセムカ

○政府委員(小出榮一君) 商品券ノ發行ニ付キマシテハ、昨日モ御答ヘ致シマシタヤウニ、是ガ紙幣類似證券ノ如キ發行ニ於キマシテ、テンデンニ流通スルト云フコトハ、各種ノ弊害ヲ生ジマスコトハ御指摘ノ通りデアリマス、從ヒ

マシテ此ノ法律ノ上ニハ直接間接ツテハゴザイマセムカ、實際之ヲ發行許可ヲ致シマス時ノ行政官廳ノ許可ノ基準ト致シマシテハ、勿論全國地域ニ依リマシテ不均衡ヲ生ジナイヤウニ致シマス共ニ、今ノ出資總額ト限ミ合セマシテ、一定ノ限度ヲ設ケルトカ云フヤウナ、組合ノ信用力其ノモノトノ關係モ十分限ミ合セマシテ、適當ノ制限ヲ置キタイト思ヒマス、是ハ或ハ施行規則ニ於テヤルコトニナリマスカ乃至ハ通牒ヲ致シマスカ、兎ニ角行政上ハ適當ノ制限ヲ設ケルコトニ處置致スコトニナツテ居リマス

○委員長 男爵肝付兼英君 別段御質問ガナケレバ第四章「組合員ノ權利義務」ノ章ニ移リマス

○中田君 二十一條ニ關スルコトデゴザイマスガ、先程モ吉田委員カラ出資ノコトデ、一日ノ金額ノ最小最高限度ヲドウ云フ風ニ定メルカト云フ御質問ガ出マシタ

ガ、ソレニ對シテ定款デソレハ定メル、ソレニ一任スルト云フ御答デアツタヤウニ思ヒマスガ、私ノ更ニ御尋ネシタイコトハ一人デ澤山持ツ、或ハ資本ノ大部分ヲ一、二ノ組合員ガ持ツテシマフト云フ

コトニナリマス、成ル程二十四條ニハ組合員ハ平等ニ此ノ決議權條ニハ組合員ハ平等ニ此ノ決議權ト云フモノハ持ツテ居リマスケレドモ、併シ事實ニ於テハ矢張り大キナ資本家ノ方ガモノヲ言フ、殊

ニ先程ノ御話デハ大企業ノ者モ此ノ組合員ニナルコトガ出來ルト云フ御話デアリマシタガ、サウシマスト一、二ノ者ガ大部分ノ資本ヲ持ツ、即チ出資ヲ澤山スルト云フコトニナリマス、薩デ其ノ資本ガモノヲ言フコトニナリマシテ、折角ノ二十四條ノ平等ノ決議權ト云フモノモ是ハ「ノミナル」ノモノニナツテシマヤシナイカト思フ

ノデアリマス、ソレデ例ハバ資本ノ何分ノ一、半分ナラ半分、三分ノ一以上ハ一人デ持テナイ、出資ヲ幾口以上ハ持テナイト云フ制限ヲ置ク必要ガアリハシナイカ、ソレデナイト折角民主的ト云フコト

ニナリマシテモ、民主的デナイ、矢張り資本ノ勢力ト云フモノハ薩デ事實上モノヲ言フノデスカ、表面キハ平等ノ表決權デヤルトアリマスガ、其ノ制限ヲ何故御置キ

ニナリナカッタノデスカ、或ハ之ヲ定款ニ一任スルト云フ御趣旨デアツタカ知レマセムカ、併シ定款モ此ノ自由意思ニ依ツテ定マルノデスカ、必ズシモ其ノ制限ヲ定款ガ置クト云フコトハ決ツテ居ラヌト思ヒマス、創立當時ニ於テ色

ノ加入ノ組合員ノ大企業家デアルトカ、大企業デアルトカ云フ場合ニ於テハ、多數斯ウ云フ風ニ資金ヲ御出シニナツテ宜イト云フ風ニナリハシナイカト思ヒマス、此ノ點ドウ御考ヘニナリマス

○政府委員(吉田悌二郎君) 此ノ組合ガ共同設備ナドヲ作リマス場

合ニハ、成ルバク澤山ノ資金ガ要ルノデゴザイマス、ト申シマシテ此ノ中小ノ方々ノ中ニハ澤山ノ出資ガ出シ得ナイノガ随分ゴザイマス、隨ヒマシテ原則的ニ出資ヲ平等ニスルトカ、或ハ或程度制限ヲ置キマス、非常ニ少イ人ガ出シ

得ナイ爲ニ、何ト申シマスカ、多額ノ金ガ集ラヌト云フコトガアルノデゴザイマス、實ハ此ノ前ノ法律ニハ此ノ出資ト決議權ノ問題ニ付キマシテハ、出資口數ニ於テ決議權ニ差等ヲ設ケルヤウナ規定ニ

ナツテ居ッタノデアリマスガ、今回ハ二十四條ハ一人一個トナツテ居ル譯デアリマスガ、私共ガ實ハ心配ヲ致シテ居リマスルノハ、只今ノ御質問ヨリモ、寧ロ逆ナ例デゴザイマシテ、出資ノ偉カシカシテ居ル人ガ決議權ヲ一個持ツ爲ニ非常ニ色々要求ヲ致シマシ

テ、爲ニ澤山ノ出資ヲ出スコトヲ、割合ニ中小工業ノ中デモ裕富ナ産業ノ方デ嫌ガルノデハナカラウカ、逆ナ方ニ今迄ノ經驗カラ考ヘテ居リマシテ、澤山出スコトニ依ツテ其ノ設備ニ或程度ノ威力ヲ揮フヤウナコトハ、二十四條ノ規定ガ出來マシタ以上ハ、是ハ日本

ノ從來ノ施策モ、組合員ノヤリ方モ惡カツタヤウデゴザイマスガ、今後モ、其ノ何ハ急ニ改メナイヤウナコトニナルノデハナカラウカト考ヘマスルノデ、寧ロ逆ニ斯ウ

云フ出資金ヲ澤山集メマスル上ニ於テ障礙ニナツテ居ルノデハナカラウカト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルヤウナ譯デアリマシテ、矢張り此ノ制限ハ此ノ出資ノ、澤山出シマスル方ノ制限ヲ致シマセムデ、

出セル人ニハ澤山出シテ貰ヒマシテ、立派ナ共同設備ヲ作ツテ行ク、或ハ共同施設ヲ行クト云フ風ニ、組合ノ事業ヲ擴充スル爲ニハサウ云フ制限ヲ設ケナイ方ガ宜カラウト考ヘテ、サウ云フヤウナ施設ヲ致シテ居ル譯デアリマス、今迄ノ經驗カラ申シマスルコト、寧ロ逆ノヤウナ例ガ非常ニ多クツヤウデアリマス

○吉田久君 今中田委員カラ御尋

ニナリマシタコトニ付テ、私モ多少疑ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、矢張り二十四條デ、「組合員ハ、總會において各一個ノ議決權を有する」、平等ダト云フコト

カラシテ、出資ヲ澤山スル者ガナクナリハセムカ、一口出資シタ者モ一個ノ表決權ヲ持チ得ル、十日、一口出資シタ者モ一個ノ表決權ヲ持チ得ルト云フコトニナリマシテハ、表決權ハ總會ノ決議ヲ半

耳ノ權利デアリマスカラシテ、總會ニ於テ自分ノ思フ通りノ意見ガ通ラナイ、詰リ一口持ツテ居ル所ノ出資組合員ノ數ニ壓サレテシマツテ、自分ノ意見ハ通ラナイ、ソレデハ馬鹿々々シイカラシテ出資

ハシナイト云フコトニナツテ、出資スルコトヲ尻込ミシヤセヌカ、其ノ結果、出資ノ口數ダケハ平等ニナルカモ知レマセヌケレドモ、只今政府委員カラ仰ツシヤツタ所ノ、相當ニ本組合ニ於テハ資金ヲ要スル、其ノ資金ヲ集メルト云フコトニ於テ遺憾ガアリハセヌカ、遺憾ノナイヤウニシタイト云フコトニ付テハ、ドウモ今申上ゲマシタ出資額ノ制限若シクハ二十四條ノ此ノ表決權ノ平等ト云フコトニ絡ンデ大イナル疑ガアルト思フノデアリマス、此ノ點ニ付テ尙一應御所見ヲ拜聽致シタイト思ヒマス

○政府委員(吉田悌二郎君) 只今

私少シ説明ヲ略シタノデゴザイマスガ、確カニ一人一個ノ議決權ニナリマス、大キナ方モ澤山出資ヲ致シマシテモ、權利ハ一ツシカナイト云フコトデ、多額ノ出資ヲ遊ラレル傾向ガアルト思フノデゴザイマスガ、唯今度ノ協同組合ト云フモノハ從來ノ組合ト違ヒマシテ、仲ノ良イ方同士ノ協力ニ依ル組合デゴザイマス、從ヒマシテ一ツノ地區ニ二ツモ三ツモ出來ルコトヲ豫想シテ居ル譯デゴザイマシテ、本當ニ仲ノ良イ人同士ガ寄ツテ協同設備ナドヲ作ツテ行ク譯デゴザイマスカラ、マアオ互ニ組合員ガ能ク理解サレテ作ル組合デゴザイマスカラ、議決權ガ一個デモサウ云フ趣旨デ行ケルノデハナカ

ラウカ、必要デアレバ相當出資ヲシ得ル人ハ出シテモ宜イノデヤナイカ、斯ウ云フコトガ此ノ組合ノ基礎的ノ觀念ニナツテ居ルモノデアリマスカラ、此ノ現在ノ規定デ相當ノ資金モ集ツテ行ク、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、併シ今迄ノ組合デハ只今申シマシタヤウナ懸念ガアツタノデゴザイマスガ、新シイ協同施設組合、從來ノ統制組合ト違ヒマシテ、協同施設組合ト云フ、オ互ニ能ク利害關係ノ深イ、而モ仲ノ良イ者同士ノ集リト云フコトデ、何トカ此ノ規定デヤツテ行ケルノデヤナカラウカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○委員長(男爵肝付兼英君) 第四

章ニ別段御質問ゴザイマセヌカ、然ラバ「第五章管理」ニ移リマス

○中田兼君 屢々御質問申シテ

恐縮デゴザイマスガ、極ク簡單ニ：此ノ三十一條デハ衆議院デ修正ガアツタト云フ此ノ前ノ大臣ノ御説明ハ、確カ此ノ條文デハナカラウカト思ヒマスケレドモ、是ハ修正ニナラヌ原案ナンドゴザイマスネ、サウスルト此ノ修正ノ文言ヲ一ツ聽カシテ戴キマセヌト、趣旨ハ分リマスカ、ドウナツテ居ルカチヨツト分ラナイノデスガ

○委員長(男爵肝付兼英君) 一應私カラ御答ヘ致シマス、此ノ委員會議デハ衆議院デ修正サレタモノガ原案トシテ係ツテ居ル譯デアリマ

ス、從ヒマシテ御配リシタモノニハ、所謂政府ノ原案ノ儘ニナツテ居リマスカ、其ノ外ニ衆議院カラ送付サレマシタ協同組合法案ノ貴族院議長ニ宛テノ報告ノ中ニハ、向フノ訂正ガハツキリト印刷シテ載ツテ居ルノデアリマス、之ヲ附ケマシタノガ所謂此ノ委員會ノ原案ト云フコトニナツテ居リマス、御參考迄ニ讀ミ上ゲマス、第三十一條ノ第三項ニ「特別ノ理由があるときは、理事のうち二人以内を限り、前項に該當しない者のうちから、これを選任することができ、サウシテ第四項ニハ「第四十一條第二項の規定は、第二項本文の場合に、これを準用する」ト云フコトニ訂正サレテ居リマス、是ガ此ノ委員會ニ於ケル原文デゴザイマス、尙此ノ際御注意申上ゲマスルガ、皆様ノ御手許ニゴザイマス商工協同組合法案ノ中ニハ、印刷ノ誤リガ十箇所バカリゴザイマシテ、是ハ御手許ニ正誤ノ印刷物ヲ廻シテアル筈デゴザイマスカラ、之ニ依ツテ御了解ヲ願ヒタイト思ヒマス、從ツテ此ノ印刷ノ訂正サレタモノトシテノ原案デアアルコトヲ御了解ヲ願ツテ置キマス、從ヒマシテ第五章管理ノ第三十一條ハ、衆議院カラ訂正サレテ參リマシタ只今ノ條項ヲ加ヘタモノトシテ御審議ヲ願ヒタイト思ツテ居リマス、此ノ訂正ニ付テハ、政府モ同意ヲ致シテ居ルト云フコトハ、

先般大臣カラノ御説明ノ内容デ御承知ダト思ヒマス、第五章ハ別段ニ御質問ガゴザイマセヌケレバ

○男爵鶴殿家勝君 第五十條ノ一番終ヒノ項ニ「通常到達すべき時に、ト云フノガゴザイマスケレドモ、ソレハ常識デ判斷スルノデゴザイマスカ、ソレトモ此ノ頃ハ非常ニ遅レマスガ「通常到達すべき時」トハ大體ドウ云フ標準デ見テ宜イモノデゴザイマセウカ

○政府委員(小出榮一君) 御話ノ通り「通常到達すべき時」ト云フノハ、今日ノ通信事情其ノ他カラ申シマシテ、非常ニ今日ノ通信事情ガ變則的ナ狀態ニナツテ居リマスガ、結局其ノ時々ノ常識ト申シマスガ、社會的ナ各種ノ事情ニ依リマシテ決定スベキモノダト思ヒマス

十二條最後ノ條項ニ至ル迄、別段御質問ゴザイマセヌカ

○子爵交野政通君 第七十八條ニ「商工組合中央金庫」ト云フノガゴザイマスガ、先達テノ政府委員ノ御説明デハ中央金庫ガ組合ニ融資スルト云フ御話デアリマシタガ、此ノ融資ノ方法トカ手續ナドハ普通銀行ヨリ餘程簡略ニ迅速ニ行クヤウナ御考ヘデアリマスカ、近來ノ經濟狀態デハ、相當中小商工業者ノ資金ガ、以前ヨリ數倍ノモノニナルト思ハレルノデ、又長期ノ融資ガ必要ナ場合モ多々起ルト思ヒマスガ、サウ云フ點普通銀行ヨリ簡略ニ、迅速ニ出來ルヤウナ御考ヘガアルデアリマセウカ、ソレヲチヨツト同ヒタイ

○政府委員(吉田悌二郎君) 從來ハ此ノ商工組合中央金庫ハ、預金部資金ヲ融通致シテ居リマシテ、サウ云フ場合ニハ、長期低利ノ金ガ出テ居ツタノデアリマスガ、最近ハ其ノ方ノ資金ガゴザイマセヌノデ、何ト申シマスカ、他ノ一般ノ金融機關ト同ジ程度ノ金融デゴザイマス、尙此ノ金庫ノ特徵ト云フノハ、所謂組合ニ對スル金融デゴザイマシテ、商工業組合ト云フモノハ、從來一種ノ金融機關デ、共同事業ヲヤリナガラ、併セテ金融事業ヲ營ム譯デ、組合ニ對スル金融機關ノ役目ヲ致シテ居ル譯デアリマシテ、即チ小サイ方々ノ信用ノナイモノヲ、組合ノ共同ノ力

デ、大體ノ場合ハ役員ノ方々ノ保證ト云フヤウナコトデ、中央金庫カラ金融ヲ受ケテ、之ヲ組合内ニ融資スル、或ハ共同購入、共同販賣ノ資金トスル、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデアリマス、其ノ手續ガ他ノ普通銀行カラ比ベテ簡易デアルカト言ヘバ、今日迄必ズシモサウデハナイヤウデアリマス、唯物的ノ擔保ガナイ場合デモ、役員ノ信用ダケデ貸シ得ルト云フ道ガ開イデアリマシテ、其ノ點ガ多少他ノ銀行トハ違ツテ居ル所デハナカラウカト思ヒマスガ、併シ今日迄ノ實績ニ依リマス、サウ樂ニ金融ガ出來テ居ツタヤウデアリマセヌ、併シナガラ最近ノ軍需補償打切りニ依リマシテ、商工組合中央金庫自身モ金繰リノコトハ段々窮屈ニナツテ、恐ラク出資金モ將來ニ於テハ減額ヲサレコトニ迫ラレテ居ルノデアリマス、從ツテ別ニ是ハ建直シテ考ヘナケレバナラヌノデアリマスガ、差當リノ問題トシテハ、軍需補償打切りノ影響ガ、此ノ金庫ニ付テ、ドレ位アルカト云フコトガ、ハツキリシテ居ラナイノデ、取敢ズハ産業復興金庫ノ資金ヲ、此ノ中央金庫ヲシテ、代理業ヲ行ハセルコトニ依ツテ、復興資金ヲ貸出スト云フコトデ、一應商工業者ノ資金融通ノ道ヲ開イデアリマス、併シナガラ其ノ貸付ノ方法ニ付キマシテハ、矢張り金融デアル以上、或程度ノ

制限ハゴザイマシテ、少クトモ役員ノ方々ノ保證ニ依ツテ、金融ヲシテ行ク、斯ウ云フ建前ヲ執ツテ居リマス

○委員長(男爵肝付兼英君) 別段

ニ御質問ハゴザイマセヌカ、ソレデハ私カラ御伺ヒ致シタイと思ヒマス、第七十三條ノ「この法律施行の期日は、勅令でこれを定める。」ト出テ居リマスガ、大體何時頃御施行ニナル御豫定デゴザイマスカ、伺ツテ置キタイと思ヒマス

○政府委員(吉田悌二郎君) 此ノ

法律ヲ施行致シマス爲ニハ、施行規則ヲ設ケル必要ガゴザイマスノデ、大體此ノ議會ノ御協賛ヲ得マシタナラバ、一箇月程度ノ中ニハ施行シタイト考ヘテ居リマス

○委員長(男爵肝付兼英君) 各條

ノ審議ハ一應是デ終了致シマシタ、總括的御質問ガ殘ツテ居リマスレバ、此ノ機會ニ御發言ヲ願ヒタイト思ヒマス、別段御發言モナイヤウデアリマスカラ、質疑ハ此ノ程度デ打切りマシテ、討論ニ入リマス

○子爵交野政邁君 此ノ商工協同

組合ハ非常ニ進歩シタ組合ダと思フノデアリマシテ、從ツテ「デンマーク」、「スエーデン」、「ノルエー」或ハ「スイス」ト云ツタヤウナ國ハ、非常ナ商業道德ガ高度ニ發達シテ居ル國デアリマシテ、殊ニ人口ハ稀薄デアル、サウ云フ所

ニハ非常ニウマク行ハレテ居ルヤウニ思フノデアリマス、今日ノ日本ト致シマシテハ、慘敗ノ後ヲ受ケテ、經濟狀態ハ非常ニ混亂ヲ來シ、商業道德ハ頹廢シテ、先程モ政府委員カラ御説明ニナリマシタヤウニ、戰時中強力ナ統制ヲ極端ニ壓迫ヲ受ケテ來タヤウナ中小工業ガ急ニ百八十度ノ轉換ノスルヤウナ有様デ、此ノ進歩シタ組合ヲ運營スルニ當リマシテハ、幾多ノ困難ガ伴フト思ヒマス、又勞働組合ハ時々進歩ノ徑路ヲ違ツテ居リマスシ、今日斯クノ如キ進歩シタ組合ガ我が國ノ中小工業ノ爲ニ出來ルト云フコトハ、日本ノ目下ノ急務ト存ジマス、ソレニ付キマシテハ、此ノ儘自由ニ放任致シテ置キマス場合ニハ、此ノ發達ハナカナカ困難ダト存ゼラレマス、就キマシテハ、幸ヒ商工大臣モ御見エニナツテ居リマスノデ、特ニ御願ヒシタイト思フ點ハ、政府ガ熱心ニ御指導ニナツテ、之ノ一ツ育テ上ゲルト云フ親切ミガ絶對ニ必要ダト存ジマス、ソレデ此ノ點ノ商工大臣ニ特ニ御願ヒ致シマシテ、

私ハ此ノ原案ニ賛成致シマス

○吉田久君 私ハ質疑ノ所デ中上

ゲマシタヤウニ、本法ノ共同施設ニ付キマシテハ、其ノ共同性ノ關聯ヲ認メル實際的ノ處置ニ付テ周到ナ用意ト、又之ニ處スル取締トヲ嚴重ニ致シマシテ、以テ本組合ノ運營ガ獨占業者ノ運營ニナツナ

イコトヲ希望シ、併セテ其ノ半面ニ於テハ、組合ニ加入シナイ中小業者ノ營業ヲ壓迫スルコトガナイヤウニト云フ趣意ニ於キマシテ遺憾ナキヲ期セラレタイト云フ點ヲ希望シテ、本案ニ付テ賛成ヲ表スル者デアリマス

○委員長(男爵肝付兼英君) 他ニ

御發言ハゴザイマセヌカ、他ニ御發言ガナケレバ、討論ハ終結ヲ致シマス、採決ニ移リマス、商工協同組合法案、之ヲ議題ニ致シマス、本商工協同組合法案ヲ可決スベキモノナリト決定致スコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(男爵肝付兼英君) 御異

議ナイト認メマス、是デ本委員會ハ終了致シマシタ、散會ヲ致シマス

午後零時二十六分散會

出席者左ノ如シ

委員長 男爵肝付 兼英君  
副委員長 子爵柳澤 光治君  
委員 侯爵佐竹 義榮君  
伯爵清閑寺良貞君  
子爵交野 政邁君  
子爵島居 忠博君  
子爵京極 高銳君  
中田 薫君  
吉田 久君  
男爵鶴殿 家勝君  
結城 安次君  
高橋龍太郎君

奧 主一郎君  
秋田 三一君  
橋本萬右衛門君  
國務大臣 星島 二郎君  
商工大臣 吉田悌二郎君  
政府委員 鈴木 重郎君  
商工事務官 池田欽三郎君  
同 小出 榮一君